

東京都23区の食料費の一層の削減を求める！！！！

東京都23区の平成6年度7年度8年度食糧費（区長部局のみの決算ベース）調査報告 平成10年4月21日
マスコミ各位 平成維新を実現する都民の会代表・情報公開特別委員会委員長 田桂四郎

当会（この会は、数年前に大前研一氏が立ち上げた平成維新の会の流れをくむものですが、平成維新の会が解散した後、当時の会員独自に立ち上げたもので現在大前氏とは、直接関係ありません）では、平成9年度方針の一つに情報公開をテーマに掲げました。具体的には、「食糧費」の一層の削減を求める標題の調査をすることになりました。目的は、23区の食糧費の量的な3年間の推移やそれらの一般会計に占める割合の比較、人口1人当たりの比較等を行い、最終的には、食糧費の一層の削減を促そうとするものです。以下は、その調査結果分析。

23区の食糧費計（区長部局のみの決算ベース）は平成6年度が、13億8776万円、平成7年度が13億3374万5千円、平成8年度が8億7949万4千円でそれぞれ一般会計歳出に占める割合は、0.050%、0.048%、0.032%であった。又、平成6年度に対して、平成8年度は、63%で約3分の2以下に減少し、改善された事になる。良い傾向ですが、更なる削減が望まれます。また、人口1人当たりの額は、109円でした。更に各の比較は、ベスト5、ワースト5で見ると次の様になります。

(1) 平成6年度から8年度に向けて食糧費減少率ベスト5（平成6年度食糧費を100%とした場合の8年度の率（減少が多いもの））

1位中野区26%、2位北区・港区45%、4位豊島区48%、5位墨田区53%。*23区平均は63%。

(2) 平成6年度から8年度に向けて食糧費減少率ワースト5（平成6年度食糧費を100%とした場合の8年度の率（減少が少ないもの））

1位大田区85%、2位千代田区80%、3位葛飾区73%、4位品川区75%、5位江東区71%。

*23区平均は63%。

(3) 平成8年度の一般会計に占める食糧費の率のベスト5（ウェイトが低いもの）

1位中野区0.0065%、2位世田谷区0.0114%、3位練馬区0.0144%、4位豊島区0.0212%、5位荒川区

0.0232%。*平均0.0319%

(4) 平成8年度の一般会計に占める食糧費の率のワースト5（ウェイトの高いもの）

1位千代田区0.0714%、2位台東区0.0686%、3位江東区0.0519%、4位江戸川区0.0509%、5位新宿区0.0491%。*平均0.0319%。

(5) 平成8年度人口1人当たり食糧費ベスト5（額が小さいもの）

1位中野区21円、2位世田谷区33円、3位練馬区42円、4位葛飾区69円、5位杉並区79円。

*平均109円。

(6) 平成8年度人口1人当たり食糧費ワースト5（額が大きいもの）

1位千代田区805円、2位台東区411円、3位新宿区208円、4位中央区188円、5位港区185円。*平均109円

*調査は、当初情報公開請求の手続きで行う予定でしたが、ほとんどの区ですでに数字を把握してたので、各区から報告を受けた形となった。一部の区では、全て決算書に記載されていた。荒川区は、予算決算も全て、一覧表になっていた。ほとんどの区が決算書には記載してなかった。

**江戸川区は唯一食糧費単独の金額を明かしていない。そのため、江戸川区の食糧費の数字は、江戸川区の助言の下、江戸川区が公表している賄（まかない）費目のうち、行事・給食用賄を除いた分を食糧費とした。

***中央区は、食糧費のうち、一人当たり金額が2000円未満のもの及び事業目的・内容の一部を構成するもの（浜離宮花と緑の集いなど）を除いた分しか、公開していないためその数字を使用した。

当委員会の委員は門叶・山崎 又当委員会の委員・澤井・阿部・佐藤・小野寺・小野寺・笹本・笹本・長妻・長谷川・山本・小の12名でした。田・治田の12名でした。

調査資料一覧表は、次号に掲載。

23区の食糧費

削減は平均4割

94～96年度「一層の努力を」
市民団体調査

23区の食糧費は、「官公庁」が区の担当者に直接「問題が表面化した94年度から3年間で平均4割近く減ったもの」のまだ1割強しか減っていない区も。23区の食糧費についてこんな結果が市民グループの調査でわかった。食糧費を区民1人あたりに換算した場合、年間800円以上から21円までと幅があり、市民グループ側は「一層の削減努力」を求めている。

調査したのは、「平成維新を実現する都民の会（治田桂四郎代表、270人）。3年間の食糧費について、食糧費の割合が高かったのは千代田区（0.0714%）▽台東区（0.0686%）▽江東区（0.0519%）の順。逆に低かったのは中野区（0.0065%）▽世田谷区（0.0114%）▽練馬区（0.0144%）だった。人口1人当たりの食糧費は、高い順に千代田区805円▽台東区411円▽新宿区208円と続き、低かったのは中野区21円▽世田谷区33円▽練馬区42円」となった。

この結果、3年間で食糧費の額が最も減ったのは中野区で94年度には2528万円だったのが、96年度には651万円となり、74%減った。北区と港区の各55%減▽豊島区の52%減が続く。逆に減少率が小さかったのは、大田区（15%減）▽千代田区（20%減）▽葛飾区（27%減）。平均では、37%減った。

96年度の一般会計に占める食糧費の割合が高かったのは千代田区（0.0714%）▽台東区（0.0686%）▽江東区（0.0519%）の順。逆に低かったのは中野区（0.0065%）▽世田谷区（0.0114%）▽練馬区（0.0144%）だった。人口1人当たりの食糧費は、高い順に千代田区805円▽台東区411円▽新宿区208円と続き、低かったのは中野区21円▽世田谷区33円▽練馬区42円」となった。

「都民の会」によれば、